**道元禅師の禅** La zeno de la zenisto Doŭgen

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2015-08 西　宏 / Zefiro

座禅について　　　　　　　Pri la zen-sido (2 paĝoj)

仏教用語の翻訳・覚え書き　Notoj de traduko de budhisma termino (58 paĝoj)

普勧座禅儀　　　　　　　　Invito al zen-sido (8 paĝoj)

弁道話（岩波文庫） 　　　Koni la zen-vojon (34 paĝoj)

随聞記（筑摩叢書） 　　　 La notoj aŭditaj de Doŭgen (64 paĝoj)

宝慶記　（岩波文庫）

道元禅師　略歴

1200年 京都に生まれる。父は久我通親、母は九条基房の娘。

　　　　　　　３歳で父を、８歳で母を失う。１３歳比叡山に入る。

　　　1223年 師の明全（臨済宗）と中国（宋）に留学。明全師は病死。

　　　1225年 天童山の如浄禅師の下で開悟。

1227年 帰国。建仁寺、安養院、興聖寺を経て永平寺を開く。

　　　1253年 京都にて示寂。

著作　普勧坐禅儀１巻、弁道話１巻、正法眼蔵９５巻、学道用心集１巻、永平清規２巻、永平広録１０巻、宝慶記、傘松道詠など。常用経典・修証義は正法眼蔵の抜書き。随聞記は弟子の懐弉が受けた教えを記録したもの。

キーワード　教外別伝、不立文字、只管打坐、直指人心。

和歌　春は花　夏ほととぎす　秋は月　冬雪降りて　涼しかりけり

　　　尋ね入る　みやまの奥の　里ぞもと　我すみなれし　なりけり

自分の魂との対話、自分の精神との格闘、英知の獲得、仏教徒はこの三つの課題に挑みます、生き抜くために。Dialogo kun sia propra animo, luktado kun sia propra spirito kaj akiri la budhan saĝon. Budhanoj provokas tiujn tri temojn por travivi.